

平成23年度(2011年度) 地質情報管理士資格検定試験

技術委員会

地質情報管理士は、地質情報の新しい利用形態の環境を見据え、地質情報の電子化・利用に係わる能力(IT関連、CALS/EC、座標情報、電子認証など)を有する地質調査技術者の育成を目的として、平成18年度に資格制度が創設され、今年で6回を迎えます。

東北地区(仙台会場)における平成23年度の地質情報管理士試験は、平成23年11月25日(金)に「仙台市戦災復興記念館」で開催されました。東日本大震災の影響があったためか受験申込者数6名と少なく受験者は5名でした。

試験は以下の内容で実施されましたが、幅広い範囲・内容で出題され、比較的難易度が高いと感じられました。

(1) 試験時間および試験方法

試験時間：午前-90分、午後-90分

試験方法：午前-択一式、午後-記述式

(2) 試験内容および配点

・ 午前の部 10:30 - 12:00 (90分)

第1部 情報技術、GIS、測量、地盤情報などに関する基礎知識 20問 40点

第2部 電子納品、JIS、コンプライアンスなどに関連する基礎知識 20問 40点

・ 午後の部 13:00 - 14:30(90分)

第3部 電子情報全般と地質情報公開 計 30点

第4部 電子納品実務 計 30点

平成24年2月23日に合格発表がありましたが、仙台会場での合格者は4名でした。全国での合格者数は62名、合格率63%と発表されています。

なお、東北地区では、年々、受験者数が減少していることから、資格の重要性について、啓発活動をより一層行っていく必要があると感じられます。くわえて、受験資格の制限があり、実際の実務担当者が受験しづらいような側面もあることから、資格制度の継続性を考えた場合、改善の余地があるとの印象を持ちました。

